

街角「ユース」

◇講座「『平成』の出版について」 東海市平洲記念館であり、愛知教育大非常勤講師の小崎智則さんが市民ら約40人に話した。元号の成り立ちや明治、大正、昭和の元号が決定した過程を説明。平成に関する「当時は他に『修文(しゅうぶん)』や『正化(せいしか)』という候補もあったが、ローマ字の頭文字が昭



熱心に講座を受ける人たち＝東海市平洲記念館で（同市提供）

和と重なるため採用されなかったのではないかと話した。参加者は「平成の次の元号がどうなるのか楽しみ」と感想を話していた。